

本年度の重点『新しい学校教育を推進し、子どもの「いつも（日常）」を支え、広げる』

学校だより 小倉総合通信



こくらそうごう

4月号 (令和7年4月15日)

小倉総合特別支援学校

校長 前田 孝二

令和7年度がスタートしました！

4月8日(火)の着任式では、49名の教職員を新しく迎えました。始業式では、この1年間に頑張ってもらいたいこととお話して、いよいよ新年度のスタートを切ることができました。教職員一同、保護者様や地域の方々と共に、子どもたちの成長と幸せのため、「一人一人の心に寄り添う」教育を目指して参ります。



ご入学おめでとうございます！

4月14日(月)に、令和7年度 第10回入学式が執り行われ、小学部14名、中学部14名、高等部16名の仲間を迎えることができました。

今日から、全児童生徒がそろっての学校生活が始まりました。子どもたちが「学校に行きたい」「学校が楽しい」と思えるような、よりよい学校づくりに努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いたします。



頑張ってもらいたいこと

始業式や入学式では、育てたい子ども像を基に、この1年間に頑張ってもらいたいこととお話しました。

1つ目は、「あいさつをしよう」です。自分から元気にあいさつをすれば、笑顔になれるし、気分もよくなります。自分から、笑顔で、元気に、あいさつすることに取り組んでほしいと思います。

2つ目は、「できたよ（わかったよ）を増やそう」です。体を動かしたり、歌を歌ったり、友達と仲良くしたり、勉強をしたり、運動をしたり、色々な活動の中で「できたよ（わかったよ）」を増やし、その喜びを感じてください。今年度もこの2つのことを心にとめて、先生方と一緒に頑張っていきましょう。

あいさつをしよう



できたよ(わかったよ)を
ふやそう



人工呼吸器勉強会を実施しました

4月7日(月)に、人工呼吸器勉強会を行いました。人工呼吸器を使用している児童生徒の担当の先生や学年の先生、養護教諭、看護師が参加しました。メーカーの方から、機械の仕組みや取扱いについての注意事項、アラームが鳴った時の対応について、3つのグループに分かれて説明を受けました。今後もこのような研修を行い、より一層、安全・安心な学校づくりに向けて取り組んでいきます。



※ 学校だよりの本文には、ユニバーサル・デザインの書体を使用しています。小学校の教科書にも使用されるようになった書体の仲間です。あくまでも、書体のもつ特性を生かしていきたいと考えていますので、本文のルビは振っておりません。ご了承ください。